

分野名	母性看護学	科目名	母性看護学概論
単位数	2	授業時間数	30
開講年次	1	開講期間	後期
担当教員	専任講師* *実務経験のある教員		
目的	母性看護の基盤となる概念・対象と母子保健の動向について理解し、ライフサイクル各期の看護に必要な基礎的知識・倫理的考え・態度を身につける。		
目標	1.母性看護の概念と対象について述べる。 2.人間の性と生殖について述べる。 3.母子保健に関する動向と法律・施策について述べる。 4.ライフサイクル各期の特徴・健康問題と看護を述べる。 5.母性看護における倫理について考えを述べる。		
成績評価の方法と基準	単位認定試験90%、レポート・課題提出10%		
使用テキスト・教材	※使用教材 ナーシンググラフィカ 概論・リプロダクティブヘルスと看護 母性看護学① メディカ出版		
履修にあたっての留意点	・学習内容に該当するテキストを読み、予習・復習をする。 ・授業内容の振り返りを行い、重要項目のポイントを学習する。 ・グループワークには積極的に参加する。		
No	学習内容	学習方法	担当教員
1.	母性看護の基盤となる概念 母性看護の概念	講義	専任講師*
2.	母性看護の基盤となる概念 母性看護実践を支える概念	講義	専任講師*
3.	リプロダクティブヘルス/ライツ	講義視聴覚教材	専任講師*
4.	性と生殖 セクシュアリティ	講義視聴覚教材	専任講師*
5.	母性看護にかかわる統計・法律・施策 母子保健統計の動向	講義	専任講師*
6.	母性看護にかかわる統計・法律・施策 母性看護にかかわる法律・施策	講義	専任講師*
7.	性と生殖 生殖に関する生理	講義	専任講師*
8.	女性のライフサイクル各期の看護(思春期)	講義	専任講師*
9.	女性のライフサイクル各期の看護(成熟期)	講義	専任講師*
10.	女性のライフサイクル各期の看護(更年期・老年期)	講義	専任講師*
11.	女性のライフサイクル各期の看護	講義グループワーク	専任講師*
12.	女性のライフサイクル各期の看護	講義グループワーク	専任講師*
13.	母性看護における倫理 生命倫理と看護倫理 リプロダクティブヘルスに関する倫理的課題	講義グループワーク	専任講師*
14.	母性看護における倫理 生命倫理と看護倫理 リプロダクティブヘルスに関する倫理的課題	講義グループワーク	専任講師*
15.	単位修得試験		
16.			

分野名	母性看護学	科目名	母性看護学方法論Ⅰ
単位数	1	授業時間数	30
開講年次	2	開講期間	前期
担当教員	専任講師*、兼任講師* *実務経験のある教員		
目的	妊娠・分娩の経過を理解し、看護に必要な基礎的知識・技術・態度を身につける。		
目標	1.マタニティサイクル期の看護の特徴を述べる。 2.妊娠の成立と正常な妊娠経過を述べる。 3.妊婦・胎児の健康診査について述べる。 4.正常な妊娠経過を促すための看護を述べる。 5.分娩の正常な経過を述べる。 6.正常な分娩経過を促すための看護を述べる。 7.妊娠期・分娩期の異常と病態生理、治療、看護を述べる。		
成績評価の方法と基準	単位認定試験100%		
使用テキスト・教材	ナーシンググラフィカ 母性看護学② 母性看護の実践 メディカ出版 ナーシンググラフィカ 母性看護学③ 母性看護技術 メディカ出版		
履修にあたっての留意点	・学習内容に該当するテキストを読み、予習・復習をする。 ・授業内容の振り返りを行い、重要項目のポイントを学習する。 ・グループワークには積極的に参加すること。 ・演習の前には、提示された課題を行い予習した上で臨むこと。		
No	学習内容	学習方法	担当教員
1.	マタニティサイクル期の看護	講義	専任講師*
2.	妊婦の生理	講義	専任講師*
3.	妊婦と胎児のアセスメント	講義	専任講師*
4.	妊婦と家族の看護	講義	専任講師*
5.	妊娠期の看護技術	演習	専任講師*
6.	妊娠期の看護技術	演習	専任講師*
7.	分娩の生理 分娩の定義・3要素、分娩の経過	講義	専任講師*
8.	産婦・胎児のアセスメント 産婦と家族の援助	講義	専任講師*
9.	妊娠期・分娩期の異常と看護 妊娠期の異常と看護	講義	兼任講師*
10.	妊娠期・分娩期の異常と看護 分娩期の異常と看護	講義	兼任講師*
11.	妊娠期・分娩期の異常と看護	講義	兼任講師*
12.	看護過程 妊娠期・分娩期の看護過程	講義	専任講師*
13.	看護過程 妊娠期・分娩期の看護過程	講義、グループワーク	専任講師*
14.	看護過程 妊娠期・分娩期の看護過程	講義、グループワーク	専任講師*
15.	単位修得試験		
16.			

分野名	母性看護学	科目名	母性看護学方法論Ⅱ
単位数	1	授業時間数	30
開講年次	2	開講期間	後期
担当教員	兼任講師*、専任講師* *実務経験のある教員		
目的	産褥・新生児期の経過を理解し、看護に必要な基礎的知識・技術・態度を身につける。		
目標	1. 正常な産褥の経過を述べる。 2. 正常な産褥経過を促すための看護を述べる。 3. 家族関係形成への援助を述べる。 4. 産褥期の異常と病態生理、治療、看護を述べる。 5. 新生児の生理を述べる。 6. 新生児の子宮外生活適応へ向けた看護を述べる。 7. 新生児の異常と病態生理、治療、看護を述べる。 8. 褥婦の看護過程を展開する。		
成績評価の方法と基準	単位認定試験100%		
使用テキスト・教材	ナーシンググラフィカ 母性看護学② 母性看護の実践 メディカ出版 ナーシンググラフィカ 母性看護学③ 母性看護技術 メディカ出版		
履修にあたっての留意点	・学習内容に該当するテキストを読み、予習・復習をする。 ・授業内容の振り返りを行い、重要項目のポイントを学習する。 ・グループワークには積極的に参加する。 ・演習の前には、提示された課題を行い予習した上で臨む。		
No	学習内容	学習方法	担当教員
1.	産褥経過	講義	専任講師*
2.	褥婦のアセスメント	講義	専任講師*
3.	褥婦と家族への看護	講義	専任講師*
4.	褥婦と家族への看護	講義	専任講師*
5.	褥婦の看護技術 子宮底測定、乳房の観察	演習視聴覚教材	専任講師*
6.	褥婦の看護技術 子宮底測定、乳房の観察	演習視聴覚教材	専任講師*
7.	産褥期の異常と看護	講義	専任講師*
8.	新生児の生理 新生児のアセスメントと看護	講義	兼任講師*
9.	新生児の異常と看護	講義	兼任講師*
10.	新生児の看護技術	演習	兼任講師* 専任講師*
11.	新生児の看護技術	演習	専任講師*
12.	褥婦の看護過程 事例による看護過程の展開	講義グループワーク	専任講師*
13.	褥婦の看護過程 事例による看護過程の展開	講義グループワーク	専任講師*
14.	褥婦の看護過程 事例による看護過程の展開	講義グループワーク	専任講師*
15.	単位修得試験		
16.			